

別紙標準様式(第7条関係)

会 議 録

会議の名称	令和4年度第3回枚方市立禁野小学校の新しい学校づくり協議会
開催日時	令和4年6月25日(土) 10時から11時20分まで
開催場所	禁野小学校図工室
出席者	(会長) 奥野委員 (副会長) 森委員 (委員) 森田委員、新保委員、山下委員、鴨田委員、中村委員 (事務局:新しい学校推進室) 高橋総合教育部次長、畑中新しい学校推進室課長、 萩森課長代理、石田係長、多田主任、廣瀬主任 (事務局:建築課) 津熊建築課長、水阪課長代理、澤田係長 (前田組・浦辺設計共同企業体) (前田組) 尾崎設計部専任部長、山之内工事部長、 杉本工事部工事課長 (浦辺設計) 西村代表取締役、近藤取締役執行役員、 前田一級建築士
欠席者	なし
案 件 名	1. 禁野小学校の新校舎整備について 2. その他(報告事項)
提出された資料等の 名称	(資料1)設計業務の提案に関する事項 (資料2)高陵小・中宮北小卒業記念制作品の公開等について
協議・決定・報告事項	1. 禁野小学校新校舎設計業務の提案 2. 高陵小・中宮北小卒業記念制作品の公開 新校舎他市事例視察
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録等の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	0人
所管部署(事務局)	総合教育部 新しい学校推進室

協議内容

案件に入る前に

- ・今回以降、禁野小学校新校舎整備の案件で出席する中村委員、前田組・浦辺設計共同企業体の紹介
- ・新保委員より、禁野小開校式の御礼、児童・保護者アンケート結果報告

案件1. 禁野小学校の新校舎整備について

<前田組・浦辺設計共同企業体の説明>

【設計業務の提案に関する事項】

(説明内容は資料1の要約となり、本会議録では割愛する)

【計画スケジュール】

- ・スケジュールの中で直近にあるのが解体工事で、工事着手前にアスベスト調査や設計・申請関係、幼稚園インフラ引込替工事が必要
- ・解体工事は令和4年12月から令和5年5月までを予定
- ・新校舎基本設計は契約締結日令和5年5月まで、実施設計は令和5年6月から令和6年5月まで、工事は令和6年6月から行い完成時期は令和8年7月を予定
- ・新しい学校づくり協議会で意見交換、教育委員会関係各課や施設整備室等と会議を行い、設計を進めていきたい。

<質疑・意見など>

(委) 基本的なことになるが、この協議会ではどこまで意見が言えるのか。例えばプールの有無や、グラウンド配置等についても意見を反映してもらえるのか。

(事) プールの考え方やグラウンド配置については、教育委員会で方針が示され、それを基に業者発注しているため変更することはできない。

(委) 校区コミュニティ協議会会長として、新校舎にプールが設置されない理由、法面側に校舎、北側にグラウンド(北側は新興住宅が多く、過去の経緯を知らない人も多い)が設置される理由等を地域に説明する必要がある。

(事) 校舎の配置やプールの有無等は発注を行う前の重要なポイントであり、本協議会でも「禁野小学校の新しい学校づくり」資料に基づき、協議調整してきたものと認識している。また、地域説明会でも教育委員会の考えをお示ししている。プールは民間委託していく方針であり、また、関西外大との連携や地域要望等を総合的に勘案した中で、校舎配置は南側、グラウンドは北側としている。

(委) アスベストについて聞きたい。高陵小にアスベストはあるのか。

(企) 枚方市で事前に約300箇所を調査し、高陵小にアスベストがあることが判明している。大きく3つに分類され、レベル1は、鉄骨等へ綿状に付着し飛散性の高いもの、レベル2は配管のパッキンや保温材等に使用され、レベル1ほどではないが飛散する恐れがあるもの、レベル3は天井の成形板等に使用され飛散性が少ないものである。高陵小にはレベル3相当のアスベストが含有していることが判明している。ただし、児童がいた中での不十分な調査であり、廃校となった校舎をあらためて調査し、未調査箇所の調査を増やしていく予定である。レベル3のアスベストは、大気汚染防止法に基づき、飛散しないよう湿潤状態にし、できる限り原型を保ったまま、袋詰めにして外部へ搬出し処分する。

(委) 高陵小にレベル3は何箇所あるのか。

(企) 本日、前回調査時の資料を持ち合わせていないが、今後あらためて精査していく。

- (委) 仮にレベル1、2のアスベストが出てきた場合、解体工事のスケジュールが伸びる可能性はあるのか。また、その際適切な飛散防止対策は行ってもらえるのか。
- (企) 枚方市の前回調査に基づき解体工事期間を6カ月としているが、精査していく中で伸びる可能性がないとは言えない。アスベストは法律に則り処分する。
- (委) 文化財の試掘した結果はどうだったか。工事への影響はないか。
- (事) 1カ所遺跡が出て本調査を進めるが、想定内の期間に終わる見込みである。
- (委) 禁野小学校設計施工（DB）一括発注は、何社くらい応募があったのか。
- (事) 応札への参加者は3社あったが、1社が価格超過で失格となり5月のプレゼンテーションに参加した業者は2社である。選定審査会の審査結果で前田組・浦辺設計共同企業が最高得点を得て事業者に決定した。
- (委) 以前から法面側に体育館を作るべきではない旨の意見書を市長へ提出し、今回その方向性が示されたのは非常によと感じている。工事車両の搬入等にも関係してくると思うが、新校舎入口はどのくらいの寸法を考えているのか。
- (事) 具体的に決まり次第あらためてお示ししたい。
- (委) 高陵校区約4,500名の住民の内、約33%が高齢者であり災害時に坂を登るのが大変であるとする。災害時の対応として、何か教育委員会の考えはあるか。歩かずとも自動で坂下から坂上まで移動できる手法はできないか。
- (事) 担当部署からは、第1次避難所へ行くまでの待機場所として関西外国語大学御殿山キャンパスの一部を使用できる旨聞いている。ご意見はお伝えさせていただく。
- (委) 新校舎にエレベーターは何台設置されるのか。
- (企) 校舎と体育館の両方に利用しやすい位置に1台設置する。維持管理する必要もあり、他市でも1台の小学校が多い。
- (委) 最低2台必要ではないかと思う。
- (企) 動線経路を考慮した上でこの規模であれば1台で十分と考える。エレベーターを特に必要とするのは2階の特別支援教室である。体育館も2階にあり、避難時は階段の使用になると思うが、地域活動等、日常の利用はエレベーターも使用できる。
- (委) 避難時に要支援者が体育館までの階段を上がらなければならない課題もある。
- (企) 最近では、避難時に体育館のみを使用する事の問題性が指摘されているため、体育館下の諸室も高齢者や病気の方々に部屋が割り当てられるよう考えている。また、1階の家庭科室では炊事ができ、体育館テラス下はオープンスペースがあり、炊き出しも可能。
- (委) 地域の部屋やPTAの部屋はどのくらいの大きさになるのか。
- (企) 基本的に普通教室の半分ほどのサイズとなる。
- (委) 地域の大人が30人くらい入れるサイズか。
- (企) 30人入るのは困難である。しかし、現代の新しい学校は他の用途と共用が可能な教室を考慮する必要がある。例えば本案ではコミュニティの部屋に近いランチルームは50人規模で入ることができる。
- (委) 我々も、コミュニティの部屋は備品置場にし、会議は多目的室で行う等、その在り方を見直すべきかもしれない。
- (委) 工事に着手する令和6年6月までであれば我々の意見が反映されるのか。
- (企) 実施設計期間は工事を行うための詳細図の作成期間であり、そこでは大きな意見を聞くことは厳しい。基本設計期間は、令和5年5月までとしており、本年12月までには意見を述べていただきたい。理科や図書の先生方等の意見もお聞きしながらまとめていきたい。
- (委) 教員向けの説明をお願いすることはできるのか。
- (企) させていただきたい。
- (委) 天野川テラスは必要なのか。屋根もなく、児童の転落の恐れもある。

- (企) 我々の提案が認められた審査結果報告書も公表されているが、その中では禁野小の立地特性を活かし淀川を臨む景観を享受できるようまく天の川テラスが配置されている、天の川テラスに対して各学年がほぼ等間隔に位置していること等をご評価いただいている。また、様々な障害や解決すべき問題があるかもしれないが、成就させてほしいともご意見いただいている。懸念事項は無視せず、答えを見出していきたい。
- (委) 天野川テラスに屋根の作成をお願いすることはできるのか。
- (企) 技術的には可能だが、今回はデザインビルド方式で発注され予め金額や新校舎のスペックが決まっており、増額の可能性もある。また、金額面だけでなく屋根を付けることは一長一短あり、協議も必要と考える。
- (委) 先程の説明では転落防止の格子のようなものがあつたが、高さも不明であり、中には登って飛び降りようとする子どももいるので、安全面を第一に考えていただきたい。
- (企) 我々は特別支援学校も数多く手がけており、発達障害の子どもを含め様々な行動をとる子どもがいる中、設計の中でどのように配慮し、他の学校と同じ教育空間を提供できるかと日々考えているので、その経験もご評価いただき、共に新校舎を創っていきたい。
- (委) 他市で新校舎に近い学校を見学することはできるのか。
- (企) 設計を詰めていく中で、こういう点はこの学校が参考になると提案はできるので、教育委員会等を通じて見学はできると思う。
- (委) 『ICT教育の拡充を見据えた提案』とあるが、装置等は金額に含まれているのか。
- (企) デザインビルド方式はメリットもあるが、要望が出てくる中でそれが金額に含まれているのかいないのかという話を頻繁に行わないといけない制約もあることをご理解いただきたい。
- (委) 12月から解体工事が始まるので、11月までには工事に関する地域説明会を開催する必要があると考える。
- (企) 説明内容や資料を整え、10～11月に近隣への説明を行いたい。
- (委) 今回の新校舎に係る資料は必要部数用意していただけるのか。校区コミュニティ会議で説明する必要がある。また先生方の意見は早急に聞いてほしい。
- (企) 必要部数用意する。
- (委) デザインビルド方式の話があつたが、市は補正予算を組む予定はあるのか。
- (事) 予定はない。契約金額の中で調整していきたい。
- (委) 鋼材や人件費等が値上がりされる中、契約金額が上がることはないか。
- (事) あまりに上昇した場合、国から変更契約が必要な旨の通知が来る場合もある。その通知が来た場合は、全国的な対応として変更契約できるが、国からの通知がなかった場合、企業努力的な部分が求められるかもしれない。将来的な状況次第であり、何とも言えない。
- (委) 提案内容を見て、すごく楽しみな学校になると思う。例えば、もっと予算があればこのような設備環境ができたというものがあれば教えてほしい。
- (企) そういう観点では特にないと考える。これだけの予算だからこれくらいの設備環境しかできないという提案はしていない。なお、最近の教育課程は、コミュニケーションをとりながら学習する等、設備より学び方に重点が置かれている。
- (委) 禁野小新校舎建築の反省点を他の学校の建替えに活かすと思うが、足りなかった反省よりも、いらなかった反省にしてもらえたほうが保護者の視点からはありがたい。今後詳細を決めていく際、経験則も教えていただきながら意見を出していきたい。
- (委) 明倫小と同じようなオープンスペースになるのか。
- (事) 他の小学校との比較では明倫小が近い。文部科学省からオープンスペースの活用指針(学校全体を学びの場とし、廊下は自習等ができるようなオープンスペース)が示されており、そのコンセプトに沿った設計となっている。

(企) コミュニケーションも重要だが、先生方には静かなスペースが必要な場合もあるので、教室と廊下を間仕切りで調整できるようにしている。

(委) ウッドデッキのメンテナンスも契約金額に含まれているのか。

(企) デザインビルド方式ではメンテナンスは含まれていない。昔は耐久性が高い南洋材を使い、自然物のため、ささくれ等が生じたが、現在は様々なメーカーが開発している人工木材があり、ささくれ等は生じない。教育環境にふさわしくないもの、危険なものの製品は経験しているので、様々な製品の開発状況も踏まえ提案していきたい。

案件 2. その他（報告事項）

<事務局の説明>

【高陵小・中宮北小卒業記念制作品の公開等について】

(説明内容は資料 2 の要約となり、本会議録では割愛する)

【他市事例の視察について】

- ・昨年度第 9 回協議会（令和 3 年 12 月 18 日開催）で、守口市立小学校の視察について説明していたが、2 月頃に新型コロナウイルス感染症が拡大したため、急遽延期していた。
- ・感染者数はピーク時よりも徐々に減少している状況のため、守口市との調整の再開を考えている。
- ・目的は、設計の提案内容も踏まえて、具体的な事例施設の視察を想定。
- ・時期は、8 月から 9 月頃で、半日程度を想定。
- ・参加メンバーは、本協議会委員や市関係者等を考えているが、新型コロナウイルスの影響や先方の受け入れ体制等も配慮し、できる限り少人数で実施したい。
- ・具体的に実施内容が決まったら、皆さまにご連絡させていただきたい。

<質疑・意見など>

(委) 卒業記念制作品の公開について、新型コロナウイルス感染症の拡大状況も注視した方がよい。

(事) 状況を見ながら判断していきたい。

<その他報告事項>

(事) 次回の開催について、協議会の年間予定表では 7 月 23 日（土）としているが、内容を精査し 7 月に案件がない場合には、その旨ご連絡させていただく。